

ワーキング・グループの進め方（案）

1 目的

地域活性化の分野ごとのカリキュラムを提示するための枠組み（対象、必要とされるスキル・知識等）を検討し、カリキュラム案を作成し、研究会に報告する。

なお、今年度カリキュラムを作成する分野については、研究会において決定するものとする。

2 メンバー

飯盛座長、小澤構成員、谷構成員、富永構成員、松原構成員

3 スケジュール

| | |
|----------|----------------------|
| 8月～10月上旬 | 受託事業者選定、発注 |
| 11月頃～1月頃 | 受託事業者からWGへ中間報告（2回程度） |
| 3月頃 | 研究会（第5回）へ最終報告 |

※研究会構成員には、二回目の中間報告終了後、カリキュラム概要について電子メールにて配布予定（あわせて意見照会を実施し、最終報告に反映）

4 カリキュラムの作成分野

○今年度作成するカリキュラムの作成分野については下記の分野としてどうか

- ・自主防災・自治会活動・その他分野
- ・観光・交流（移住）分野
- ・地産地消分野（地域ブランド、特産品づくり等）
- ・中心商店街活性化分野
- ・福祉分野（高齢者見守り、子ども見守り等）

※上記分野ごとに、ワーキング・グループにて

- ・学ぶことが望ましい項目（課題、スキル）
- ・項目ごとの講師（活躍している人材）
- ・対応する参考文献リストの作成

の一覧表（カリキュラム）を、受託事業者を活用しながら作成